

せせらぎ遊歩道南線エントランス部分ついに OPEN

3月25日(金)



▲エドヒガンザクラは、現在小さな蕾をたくさんつけています。(写真共に3月23日撮影)



▲護岸がこれからどのように変化していくのを楽しみます。

入口で私たちを迎え入れてくれるのは、『エドヒガンザクラ』です。日本に自生する桜の中では最も長寿だといわれており、大きなものと樹高が20m以上、幹の直径が1m以上になるものもあるそうです。そのエドヒガンザクラの横に植えられたものが、菊炭の材料としても利用される『クヌギ』です。この2本は、平成26年度より根回しや水やり、養生等の移植に向けた準備が重ねられ、この冬に移植されました。エドヒガンザクラは一庫ダム(水資源機構)から、クヌギは菊炭友の会から寄贈いただきました。

また、この遊歩道の護岸は通常の水路と違った仕掛けがいくつかあります。それは、市民の方々とでホタルの光の舞を楽しみ、そして川西の自然について学ぶ「ホタル復活プロジェクト」に取り組んでいることが理由の一つです。この挑戦を実現に近づけるためホタルの生態や川西の自然に詳しい専門家の方にご意見いただきながら、遊歩道の護岸設計をしました。護岸ブロックは表面に穴が開いており、植生が可能で微生物や動植物が生息できるようなものを使用したり、また、ホタルのエサになるカワニナという貝が生息できる環境をつくるため、水路の底にくぼみをつくり土砂が堆積しやすいようにしたり、玉石を並べたりと工夫しました。

ぜひ現地へ足を運んでみてください。

ホタル復活プロジェクト「水生生物観察会 vol.2」を開催します



ホタルの光の舞を、整備されたせせらぎ遊歩道で将来にわたって楽しめるように学び、活動するプロジェクト『ホタル復活プロジェクト』は去年の10月にスタートしました。このプロジェクトは、せせらぎ遊歩道・中央公園をはじめとする川西の豊かな自然環境について学習し、ホタルの成虫を保護したり、誰もが安全に安心してホタル観賞ができるように護岸のケアを行ったり、マナーの啓発を行ったり、幅広く環境学習をすることで、せせらぎ遊歩道でホタルを愛でられるように継続的に活動するものです。

そしてきたる4/16(土)9時半～第4回目を開催します。今回は、オープンしたばかりのせせらぎ遊歩道南線エントランス部分をはじめ、工事中の公園・遊歩道の見学や水生生物観察会を実施します。

＜第4回＞ ※要事前申し込み

「公園と遊歩道の見学&水生生物観察会 vol2」

日時 / 4月16日(土) 9時半～12時頃

集合場所 / 川西市役所正面玄関 ※小雨の場合は実施

※保護者同伴のお子様は参加可能

＜お問合せ窓口＞

キセラ川西整備部地区整備課 山角、藤田

住所 / 川西市役所5階12番窓口

電話 / 072-740-1207

第5回 川西市中央北エコまち協議会交通部会を開催しました！

交通部会の目的等

交通部会では、「キセラ川西低炭素まちづくり計画」で基本方針に挙がっている交通分野についての検討を進めています。

とりわけ「公共交通の利用促進」と「回遊性の向上」を目指して、中心市街地活性化基本計画と連携を図りながら取り組んで行こうとするものです。

この交通部会の大きな目的は前述の「公共交通の利用促進」ですので、今、車社会から脱却して電車、バスを使って移動するということが最終的な大きな目標なのですが、いきなり今のモータリゼーションから公共交通への転換というのは無理だろうということを前提に考えております。

この交通の関係について、今から議論を重ねながら社会実験も含め取り組み最終的に、34年度ぐらいを目途に車社会から公共交通社会へ乗り換えて行ければというようなことで取り組んでいます。

第5回交通部会

- 議事**
- 交通手段分担率の変化予測について
 - 予測の目的について
 - 分担率推計モデルについて
 - 今後のスケジュール



上記内容について、話し合いました。今後のスケジュールについては、下記をご参照下さい。

スケジュールと取り組み内容

施策	実施項目	短期				長期					
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
川西中央北エコまち協議会と交通部会	エコまち計画の改定(交通計画地域の設定)									→	
		実行計画の策定/社会実験の実施 検証・分析/改善/モニタリング								計画期間(10年)後の検討	
施策の検討	シャトルバスの導入		民間バスの活用の検討		実施?					→	
	現状分析	①アンケート(川西まつり) ②パーソントリップ調査の分析 ③駐車場調査 ④駐輪場調査									
徒歩・自転車による回遊性の向上	レンタサイクル社会実験										
	・駐車場に自転車を配置 ・電動アシスト自転車の導入	事例調査・検討・調整		補助申請・準備	社会実験の実施	評価/計画	継続実施?			→	
駐車場・駐輪場の利用形態	駐車場へのダイレクト誘導										
	キセラ川西内駐輪場の整備		協議・検討/駐輪場の設置								
	キセラ川西内駐車施設の共同利用		関係事業者間の調整		実施/評価/変更					→	
公共交通の利用促進	公共交通利用環境向上の検討				事例調査・検討・関係機関との調整			実施/評価/変更			→

カワゲラのなかま・カゲロウのなかま・トビケラのなかま

水の流れの中には、さまざまな水生昆虫が棲んでいます。一生のうちの長い期間水中で生活する昆虫がたくさんいます。なかでもカワゲラ・カゲロウ・トビケラのなかまの幼虫はよく見つけることができます。それぞれの生活環境や体のしくみには大きな特徴があります。そのなかまを調べることで、その場所の水質環境を知る手がかりの一つになります。

カワゲラのなかま



きれいな水環境を好みます。鰓（えら）は胸部腹面や脚の基部などですが全くない種類もあります。尾は2本で、各足先のツメが2つです。

卵→幼虫→成虫という不完全変態で、幼虫と成虫の体は羽の有無以外ほとんど同じです。



カゲロウのなかま

陸生昆虫のクサカゲロウやアリ地獄で知られているウスバカゲロウと同じように、「弱々しい・はかない命」の意味で「かげろう」と呼ばれますが、これらの昆虫とは全く別の種類です。石の表面をはう扁平型、砂の中や水草に隠れる円筒型、活発に泳ぎまわる流線型などさまざま、生活環境に対して体型の多様性で適応しています。幼虫の尾は2本の種類と3本の種類があります。大きな特徴は、卵→幼虫→亜成虫→成虫という特殊な不完全変態です。亜成虫は羽があって飛ぶこともできますが、もう1回脱皮して成虫となります。



トビケラのなかま

体型はどれもチョウやガの幼虫のようなイモムシ型ですが、口から吐いた糸で網を張ったり砂粒や植物片などで巣を作り、さまざまな生活環境に適応しています。鰓が腹部にあります。卵→幼虫→さなぎ→成虫という4つの段階を踏まえる完全変態をします。さなぎの時期も水の中です。



これら3種類のなかまは、数も種類もたいへん多いのですが、フライフィッシング（釣り）や自然環境に興味関心のある人以外にはあまり注目されないため、日本での研究は遅れています。調査や詳しい研究もされないまま環境が破壊されて絶滅してしまう可能性もあります。

施行者からのお知らせ

不法投棄に係る情報提供について（お願い）

この度、下記の場所で、建築廃材の不法投棄が発見されました。

つきましては、不法投棄者に法的措置を講じるため、何か情報があれば下記までご連絡くださるようお願いいたします。

記

川西市キセラ川西整備部 キセラ川西推進室 電話番号 072-740-1203



第118回 川西市中央北地区まちづくり協議会 計画検討委員会の開催お知らせ（協議会員どなたでも参加できます）

日時：平成28年4月12日(火)17:30～ 場所：市役所2階 202会議室

第21回 まちづくり協議会 町名変更検討部会 の開催お知らせ

日時：平成28年4月12日(火)上記終了後（18時頃から）場所：同上会議室

建築物の建築などを行う場合、土地区画整理法第76条許可申請・地区計画の届出が必要です。

また、「中央北まちづくり指針」や「低炭素まちづくり計画」等に基づいた建築計画であるかを確認するため、事前に「建築行為等の手続条例」に基づく協議が必要です。（詳しくは、地区整備課 072-740-1207へ）

権利者が死亡され名義変更されていない方や、権利の移動があった場合、住所氏名の変更があった場合はご連絡を。

上記の申告等や「阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業」について質問などがございましたらご連絡ください。

川西市 キセラ川西整備部 キセラ川西推進室 地区推進課

TEL：072-740-1214 FAX：072-740-1330

日時：午前9時～午後5時半（ただし、土曜・日曜・祝日は除きます）

HP：<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/machi/cyuoukitaseibi/index.html>